

2025年度(2026年3月期) 決算の概要

2026年5月15日



大光銀行

目 次

I. 2025年度(2026年3月期)決算の概要	
1. 損益状況(単体)	
(1) コア業務純益	1
(2) 経常利益	2
(3) 当期純利益	3
2. 業務計数(単体)	
(1) 貸出金	4
(2) 預金等・預り資産	5
3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権(単体)	6
4. 自己資本比率(連結・単体)	7
II. 2026年度(2027年3月期)業績予想(連結・単体)及び配当予想	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 2025年度(2026年3月期)決算の概要

1. 損益状況(単体)

(1)コア業務純益

○コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、前年同期比2億78百万円増加し、57億79百万円

資金利益(除く投資信託解約損益)が増加したことなどにより、前年同期比で増益となった。

○コア業務純益は、前年同期比4億31百万円増加し、60億79百万円

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,779	5,501	278
コア業務純益	6,079	5,648	431

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益(除く投資信託解約損益)	16,976	15,784	1,192

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経費	12,749	11,887	862
うち人件費	7,097	6,622	475
うち物件費	4,834	4,553	281
役務取引等利益	1,533	1,577	△ 44
役務取引等収益	3,465	3,441	24
役務取引等費用	1,931	1,864	67

<参考>資金利益(除く投資信託解約損益)の変動内訳 (単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益(除く投資信託解約損益) ① (②+⑤+⑥)	16,976	15,784	1,192
預貸差利益 ② (③-④)	12,146	11,566	580
貸出金利息 ③	15,321	12,560	2,761
預金等利息(※) ④	3,175	994	2,181
有価証券利息配当金(除く投資信託解約損益) ⑤	4,199	3,914	285
その他 ⑥	631	304	327

(※) 預金等利息 = 預金利息 + 譲渡性預金利息

【参考】投資信託解約損益	300	146	154
--------------	-----	-----	-----

(2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比1億52百万円増加し、39億54百万円

コア業務純益(除く投資信託解約損益)の増加や実質与信関係費用の減少などにより、前年同期比で増益となった。

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	3,954	3,802	152

【経常利益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,779	5,501	278
実質与信関係費用	500	1,017	△ 517

<参考1> 実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③)	500	1,017	△ 517
①一般貸倒引当金繰入額	△ 79	△ 239	160
②不良債権処理額	773	1,699	△ 926
うち個別貸倒引当金繰入額	171	1,362	△ 1,191
うち貸出金償却	565	334	231
うち偶発損失引当金繰入額	36	2	34
③償却債権取立益(△)	193	442	△ 249

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益	△ 1,352	△ 748	△ 604

<参考2> 有価証券関係損益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益(①+②+③+④)	△ 1,352	△ 748	△ 604
①国債等債券関係損益	△ 2,937	△ 461	△ 2,476
②株式等関係損益	1,240	△ 414	1,654
③投資信託解約損益	300	146	154
④金銭の信託等の運用損益	45	△ 19	64

(3) 当期純利益

○当期純利益は、前年同期比2億88百万円増加し、27億49百万円

【2026年3月期の損益状況（単体）】

（単位：百万円）

項目	2026年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務粗利益	18,828	17,535	1,293
コア業務粗利益(除く投資信託解約損益) ①	18,528	17,389	1,139
経費 ②	12,749	11,887	862
コア業務純益	6,079	5,648	431
コア業務純益(除く投資信託解約損益) ③(①-②)	5,779	5,501	278
実質与信関係費用 ④	500	1,017	△ 517
有価証券関係損益 ⑤	△ 1,352	△ 748	△ 604
その他経常損益 ⑥	27	66	△ 39
経常利益 ⑦(③-④+⑤+⑥)	3,954	3,802	152
経常収益	28,858	21,980	6,878
経常費用	24,903	18,177	6,726
特別損益 ⑧	△ 138	△ 91	△ 47
税引前当期純利益 ⑨(⑦+⑧)	3,815	3,711	104
税金費用 ⑩	1,066	1,249	△ 183
当期純利益 ⑪(⑨-⑩)	2,749	2,461	288

コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額
＝コア業務粗利益－経費

2. 業務計数(単体)

(1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比223億円(1.9%)増加し、1兆1,934億円

中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローンの増加により個人向け貸出が増加した。

(単位：億円)

項目	2026年3月末 (A)	2025年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	11,934	11,711	223	1.9 %
うち中小企業向け貸出	5,345	5,235	110	2.1 %
うち個人向け貸出	3,932	3,852	80	2.0 %
うち住宅ローン	3,652	3,574	78	2.1 %
うち地公体向け貸出	1,314	1,281	33	2.5 %

(2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比280億円(1.9%)増加し、1兆4,973億円

法人預金が大きく増加したほか、個人預金が増加した。

○預り資産残高は、前年同期比222億円(12.6%)増加し、1,980億円

新NISA制度を活用した資産形成・資産運用のニーズにお応えし、投資信託、公共債、生命保険のいずれも増加した。

(単位：億円)

項目	2026年3月末 (A)	2025年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高(※)	14,973	14,693	280	1.9 %
うち個人	10,056	10,003	53	0.5 %
うち法人	4,349	4,079	270	6.6 %
うち公金	501	580	△ 79	△ 13.6 %

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	2026年3月末 (A)	2025年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,980	1,758	222	12.6 %
投資信託	949	758	191	25.1 %
公共債	123	95	28	29.4 %
生命保険	907	904	3	0.3 %

3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権(単体)

○不良債権額は、前年同期比3億円減少し、267億円

原材料・エネルギー価格の高騰などの影響により、業績が回復できないお取引先もあったが、積極的な経営改善支援活動などにより、危険債権が減少した。

○不良債権比率は、前年同期比▲0.06ポイント低下し、2.21%

(単位：億円)

項目	2026年3月末 (A)	2025年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36	34	2
破綻先債権	5	4	1
実質破綻先債権	30	29	1
危険債権	230	234	△ 4
要管理債権	0	0	0
小計 (A)	267	270	△ 3
正常債権	11,825	11,628	197
債権額合計 (B)	12,093	11,899	194
不良債権比率 (A) / (B)	2.21 %	2.27 %	△ 0.06 <small>ポイント</small>

4. 自己資本比率(連結・単体)

○自己資本比率は、連結・単体ともに前年同期比0.05ポイント低下し、連結が8.55%、単体が8.51%

自己資本額(分子)は、利益の積上げなどにより増加した。

リスク・アセット(分母)は、積極的な営業推進による貸出金の増加などにより増加した。

○連結・単体のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準

(単位：億円)

項 目		2026年3月末 (A)	2025年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
連 結	自己資本比率	8.55 %	8.60 %	△ 0.05 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	773	755	18
	リスク・アセット	9,037	8,780	257
単 体	自己資本比率	8.51 %	8.56 %	△ 0.05 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	767	749	18
	リスク・アセット	9,011	8,756	255

II. 2026年度(2027年3月期)業績予想(連結・単体)及び配当予想

【業績予想】

・連結

(単位：百万円)

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	2026年3月期比
経常収益	29,030	29,344	△ 314
経常利益	4,840	4,067	773
当期純利益	3,300	2,799	501

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

・単体

(単位：百万円)

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	2026年3月期比
経常収益	28,430	28,858	△ 428
経常利益	4,650	3,954	696
当期純利益	3,180	2,749	431

【配当予想】

			年間配当金 合計
	中間	期末	
2026年3月期	35円00銭	54円00銭	89円00銭
2027年3月期(予想)	53円00銭	53円00銭	106円00銭

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。